

湖東婦志後編

下

~ 13
3820
6



わがまゝのいふ言はしるする言はしるする言はしるする言はしるする

三 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

四 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

五 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

六 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

七 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

八 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

九 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

十 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

十一 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

十二 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

十三 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

十四 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

十五 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

十六 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

十七 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

十八 せんじやくのしるしをたつていふ言はしるする言はしるする

かくるが...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

102

12

らゝのさゝしめむが金物ぐまづゝのけの氣
トカクはむほしとらさむんごころ
まゝゝゝゝの#三トカクまゝゝゝ
らゝゝゝゝゝ#三まゝゝゝゝゝゝゝ
新^{くは}ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
南^{みな}の目ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ#三ゝゝ
わゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
出^出ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
の客^{きやく}人^{ひと}がゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ止^と
ゝゝゝゝゝゝ#三ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝ#三ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
解^とゝゝゝゝゝゝゝゝゝ#三ゝゝゝゝゝゝ
由^{よし}ゝゝゝゝゝゝゝゝ#四はゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

六三

八

由ふきん。とてそく^{そく}仕よ^仕法ゆ^法つと^つじ^じき^きも
 いん^{いん}ち^ちつと^つ後^後結^結む^むじ^じう^う結^結せ^せつ^つの^のじ^じが^がわ^わ
 じ^じや^や印^印じ^じが^が結^結中^中じ^じあ^あじ^じち^ちつ^つつ^つり^りき^きん
 じ^じん^んあ^あじ^じし^しわ^わ結^結じ^じう^うも^もあ^あく^くわ^わ
 り^り三^三う^うつ^つの^のん^んど^どあ^あし^しつ^つで^で結^結中^中じ^じあ^あ
 の^のま^まじ^じつ^つに^に結^結じ^じう^うじ^じの^のも^もじ^じう^うが^が結^結い
 三^三あ^あん^んじ^じ世^世常^常あ^あじ^じの^のあ^あれ^れじ^じあ^あ
 じ^じ。い^いん^んあ^あじ^じの^のあ^あじ^じの^のあ^あれ^れじ^じ
 あ^あじ^じ。出^出じ^じの^のあ^あじ^じを^をじ^じの^のあ^あじ^じの^のあ^あれ^れじ^じ
 じ^じ。仕^仕掛^掛文^文庫^庫じ^じの^のあ^あじ^じの^のあ^あじ^じの^のあ^あれ^れじ^じ
 が^が持^持ま^まあ^あじ^じの^のあ^あじ^じの^のあ^あれ^れじ^じ。私^私
 ち^ちじ^じの^のあ^あじ^じの^のあ^あじ^じの^のあ^あれ^れじ^じ。自^自ら^らじ^じ
 仕^仕掛^掛を^を持^持て^て物^物り^りが^が結^結じ^じの^のあ^あじ^じの^のあ^あれ^れじ^じ。正^正月^月
 は^はあ^あじ^じの^のあ^あじ^じの^のあ^あれ^れじ^じの^のあ^あじ^じの^のあ^あれ^れじ^じ。初^初

PLANT

十

ぐわらうらむめさきさくさくめれはくさのしりて
 江戸ぞりらあつ堀の内とあけはひんまが彩窟
 かしらよあつ有らう大師河原のおれがあけ
 おわり中しあ物サ三もつてくわ神多りまき
 くとらんあきらふらあつあつそれとやアてあ
 とおあきかあつあもんごあつてをあんぐ
 まうらかあつあつあつは利まがわらう


三 ちん はまがわらう せり はがの くら え あ で
 三 お あ ま り あ つ 疾 緒 は が

ト松をあらきく屋風とむく
 そんののむ中しあけの
 とも一火さゆればあつて
 きんごふらうら朝日のあつ

ハテモウ
 叔が明かささか○
 赤 あ く ふ 雀 チヨ チヨ チヨ

潮来婦誌巻之下尾

○ 是より續篇をみくらび潮島を起し
後より名を採るべし

江戸 式亭三馬戲作 

大阪本町四丁目

岡島真七板元

